

江戸時代末期

明治時代初期

京・島原の遊郭

銀杏屋の女将
<梨花ますみ>

揚屋の女将
<舞咲りん>

銀杏屋の亭主
<奏乃はると>

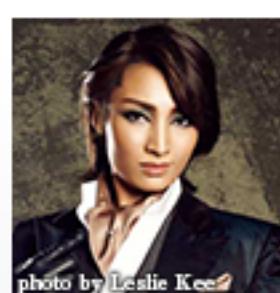
綿銀の旦那
<朝風れい>
遊郭の客

朱音太夫
<桃花ひな>
島原の太夫

天神
<早花まこ><沙月愛奈><笙乃茅桜>
<杏野このみ><星乃あんり><白峰ゆり>

雪代巴
<星乃あんり>
剣心に復讐のため近付くが、やがて夫婦となる

辰巳
<央雅光希>



加納惣三郎
<望海風斗>
元新撰組隊士
現在はフランス貿易商

フランス商館
<プチ・ガルニエ>

セバスチャン
<香綾しづる>
ダンス教師

カトリース
<沙月愛奈>
ダンス教師

ベルクール
<蓮城まこと>
フランス公使

ベルクール夫人
<杏野このみ>

桂小五郎
<蓮城まこと>
長州藩の維新志士

明治新政府

山県有朋
<夏美よう>
長州藩維新志士
現在は陸軍卿

井上馨
<美城れん>
長州藩維新志士
現在は外務卿

山県友子
<梨花ますみ>
山県有朋の妻

井上武子
<早花まこ>
井上馨の妻

密偵を依頼

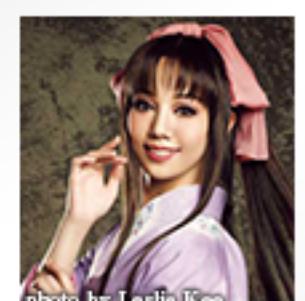
警官
<央雅光希>

かつての敵

斎藤一
<彩風咲奈>
元・新撰組三番隊組長
現在は警視庁警部補



緋村剣心
<早霧せいな>
流浪人（るろうに）
幕末の時代は「人斬り抜刀斎」と呼ばれ、恐れられていた



神谷薰
<咲妃みゆ>
神谷活心流の師範代
亡き父から引き継いだ
神谷道場を守る

剣術を教える

明神弥彦
<彩みちる>
東京府士族の息子

スリを強要する

道場を乗っ取ろうとする

取り引きを持ちかける

阿片「蜘蛛の巣」を作らせる

極道・比留間組

比留間喜兵衛
<美城れん>
比留間組組長
神谷道場買収を謀る

比留間伍兵衛
<香綾しづる>
喜兵衛の弟
偽の「人斬り抜刀斎」を名乗る

牛鍋屋・赤べこ

関原音吉
<奏乃はると>

関原弥栄
<千風カレン>

関原妙
<有沙瞳>

三条燕
<星南のぞみ>
赤べこの店員

岸田
<構幸>
新聞記者。赤べこの客

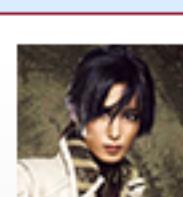
癒見
<透真かづき>

式尉
<真那春人>

火男
<久城あす>

般若
<煌羽レオ>

元・江戸城御庭番衆



四乃森蒼紫
<月城かなと>
元・江戸城御庭番衆
最後の御頭